

人を対象として行われる医学系研究を臨床研究といいます。臨床研究を行う際は、口頭または文書にて同意を取得します。ただし、患者さん・一般の方への侵襲や介入を行わず、診療情報等のみを用いる研究や残りの検体を用いるような研究については、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施に関する情報を公開し、患者さんが利用について拒否できる機会を保障することが必要とされています。これをオプトアウトといいます。

現在当院で実施中の下記の研究は、残余検体を用いた研究です。

- \* 情報を利用する際は、お名前、住所など、直接個人を同定できる情報は削除いたします。また、研究成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。
- \* 研究のためにご自身の情報が使用されることを望まれない方は下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。研究データの中からあなたの情報を削除いたします。ただし、問い合わせの時期や取り扱う情報によっては申し出に対応できない場合がございます。予めご了承ください。
- \* 情報利用の拒否を申し出ても不利益を受けることはありません。
- \* 研究に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となること以外はお知らせすることができます。お知りになりたい方は下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。

研究課題名	睡眠時無呼吸症候群における経鼻的陽圧換気療法（CPAP）治療後のアドヒアランス等の検討
所属（診療科等）	日本赤十字社長崎原爆諫早病院 呼吸器科
研究責任者	福島 喜代康
研究機関	本研究は日本赤十字社長崎原爆諫早病院のみで実施します。
研究期間	日本赤十字社長崎原爆諫早病院長許可日～2026年3月31日
研究目的と意義	睡眠時無呼吸症候群（SAS）でCPAP治療中の患者さんにおけるCPAP使用状況、アドヒアランスおよびCPAP使用後の自覚症状等についてアンケート調査し評価を行い、SASのフェノタイプの解析やSAS診療に活用することを計画した。
研究内容	●対象となる患者さん SASでCPAP治療中の患者。
	●利用する情報：カルテより以下の情報を利用します。 身長・体重測定およびPSG検査解析結果など。 本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。
	●研究の概要・方法 SASでCPAP治療中の患者さんにおけるCPAP使用状況、アドヒアランスおよびCPAP使用後の自覚症状等についてアンケート調査し評価する

	こととした。SAS のフェノタイプの解析や SAS 診療に活用する。
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：福島 喜代康（医師） 日本赤十字社長崎原爆諫早病院呼吸器科  住所：長崎県諫早市多良見町化屋 986 番 2 号</p> <p>電話：0957（43）2111 FAX 0957（43）2274</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】  （臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>医療の相談窓口：総務課 0957（43）2111</p> <p>受付時間 : 月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>